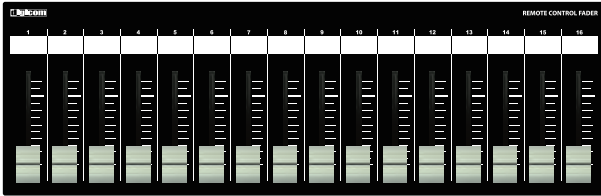




Power over Ethernet Fader for BLU

LF16BLU-PoE

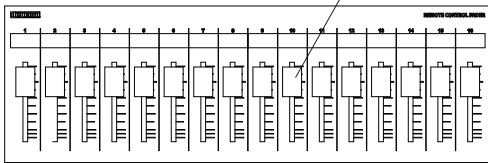
取扱説明書



LFシリーズの特徴

LF16BLU-PoEはBSS AUDIO社製品BLUシリーズのミキシング機能の一部をコントロールすることが可能な設備用フェーダーユニットです。誤操作などを避けるため、ON/OFFスイッチや設定ボタンなどを搭載しておりませんので宴会場や会議室など、専任オペレータがいない場所でも簡単に扱うことができます。

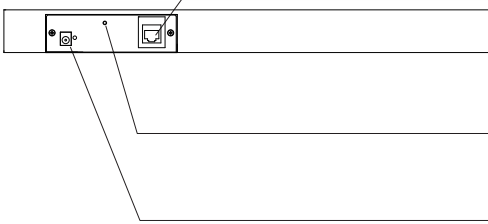
■フロントパネル



フェーダー

16ch分のボリュームをコントロールできます。
本製品はBLUの通信プロトコルを使用しており、BLU内部のProcessing ObjectsのGain N-Inputをコントロールします。
設定方法に関してはマニュアルのP2をご参照ください。

■リアパネル



RJ45端子(PoE対応)

BLUのコントロールデータを出力します。
IEEE802.3af対応のスイッチングハブと接続することによりACアダプターが不要になります。
配線にはCAT5e以上のLANケーブルをご使用ください。

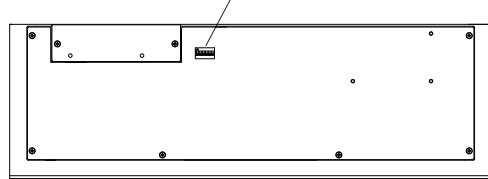
M3ネジ穴

DCプラグの抜け防止等に使用してください。

DC IN端子

接続機器がPoE給電非対応の場合は、付属品のACアダプターを接続してください。
※PoE給電を受けている場合も、ACアダプターをご併用頂いて問題ございません。

■ボトムパネル



DIPスイッチ

全てのDIPスイッチをOFFに設定してください。

IPアドレスについて(必ずお読みください)

LF-BLUのIPアドレスは192.168.0.168に設定されており、DHCP非対応です。
初期設定でIPアドレス192.168.0.2のBLUシリーズをコントロールすることができます。
LF-BLUのIPアドレスを変更する場合や、コントロール先のBLUのIPアドレスを変更する場合は弊社までお問合せください。(お問合せ先はP4をご参照ください)

仕様

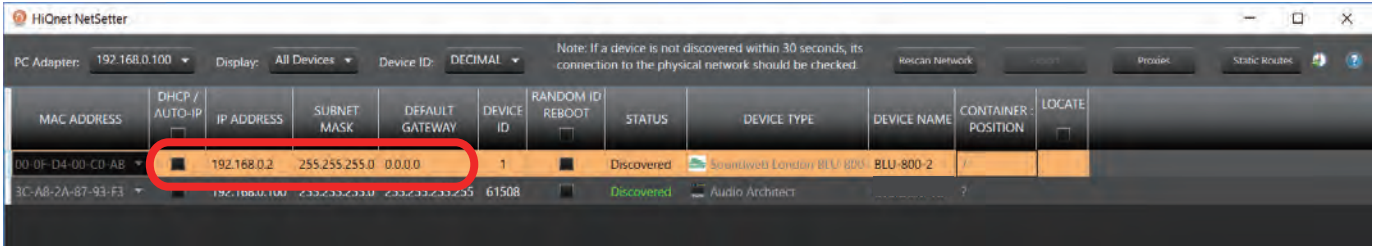
出力端子	:RJ45
伝送規格	:TCP
イーサネット規格	:10/100BASE-T
PoE受電	:IEEE802.3af
IPアドレス初期値	:192.168.0.168
IPポート初期値	:1023
電源電圧	:9V / 0.3A
付属品	:ACアダプター
塗装	:黒
サイズ	:W410×H36 x D132
重量	:2.2kg

Audio Architectの設定方法

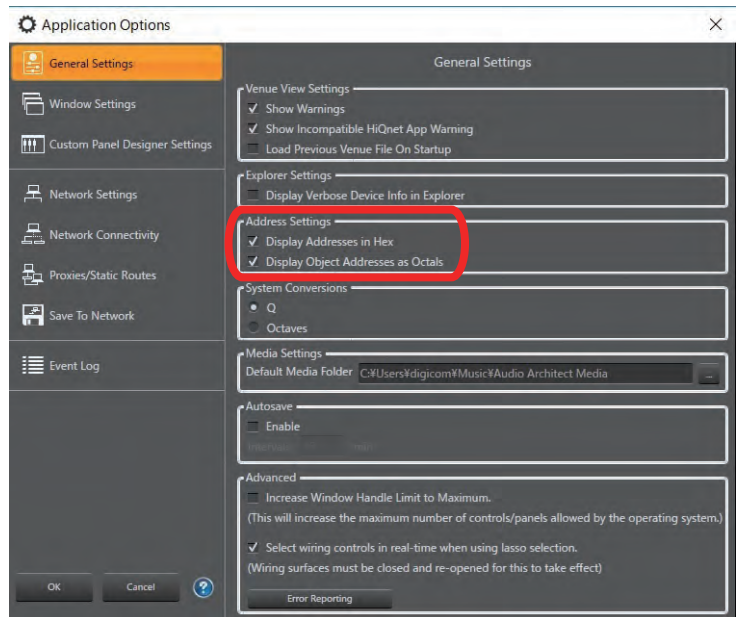
※本マニュアルはソフトウェアバージョン 2.10.0での設定方法となります。
動作検証済みソフトウェアバージョン:1.96.0 2.10.0 2.15.0

■BLU本体のIPアドレスを設定する

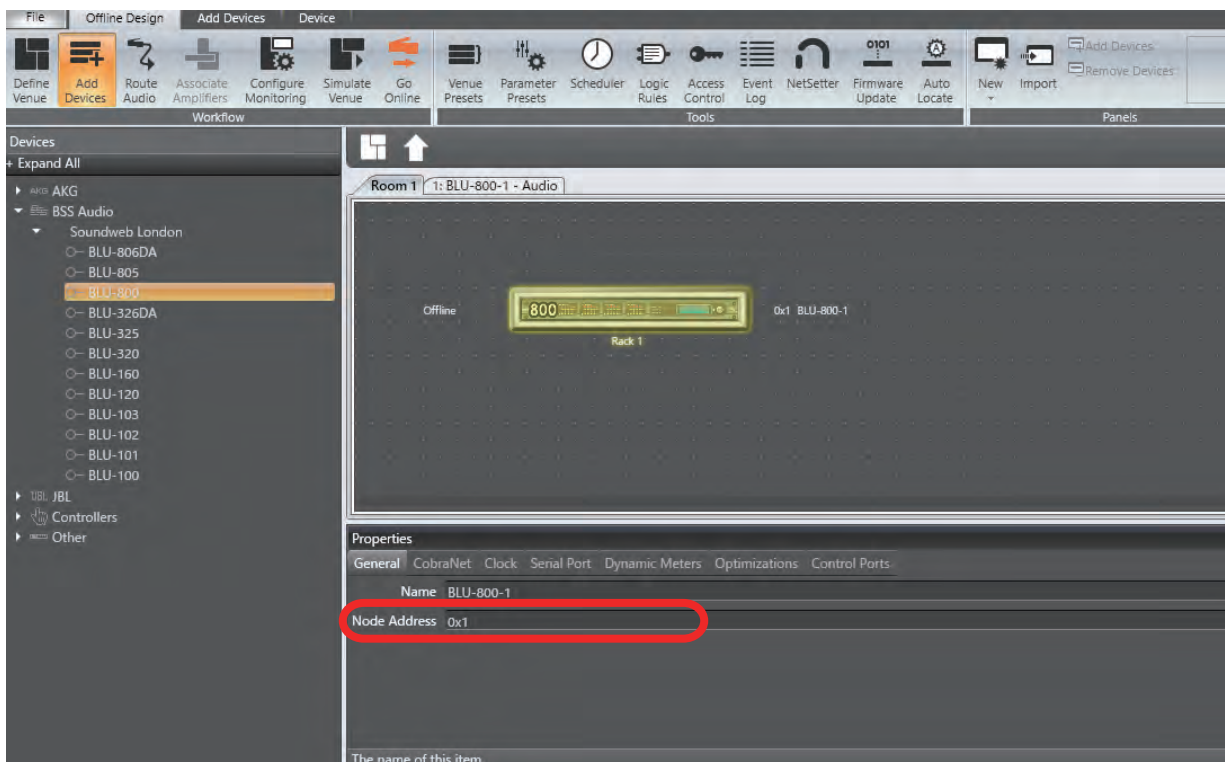
①AudioArchitectを開きHIQnet NetsetterよりコントロールしたいBLUのDHCP/AUTO IPのチェックをはずしIPアドレスを192.168.0.2, SUBNET MASKを255.255.255.0, DEFAULT GATEWAYを0.0.0.0に設定します。
※IPアドレス192.168.0.2以外のBLUをコントロールする場合LF-BLUのネットワーク設定を変更しなければなりません。変更される際は弊社までお問合せ下さい。



②FileタブからApplication Optionsを選択し、General SettingタブのAddress Settingsの項目のDisplay Addresses in HEXとDisplay Object Addresses as Octalsにチェックをいれます。

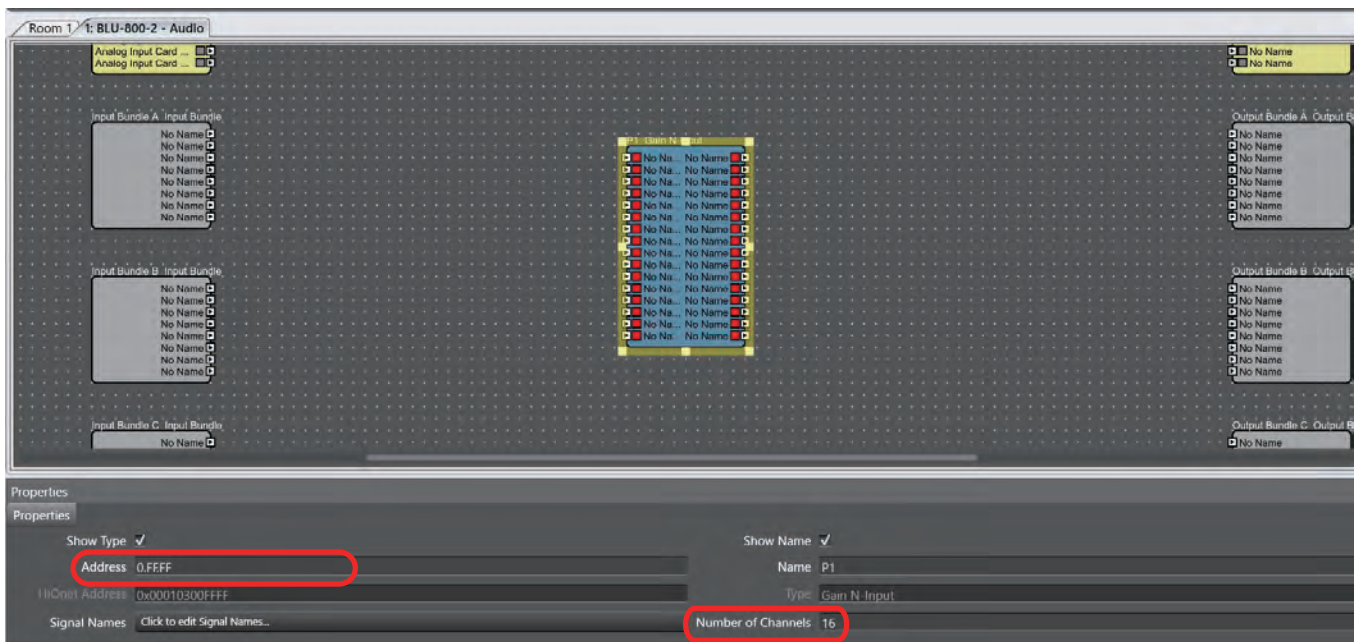


③コントロールしたいデバイスを選択し、Node Addressを以下のように設定します。



④GAIN N-Inputを配置し、Number of Channelsを16にします。
更にAddressを0.FF.FFに設定してください。

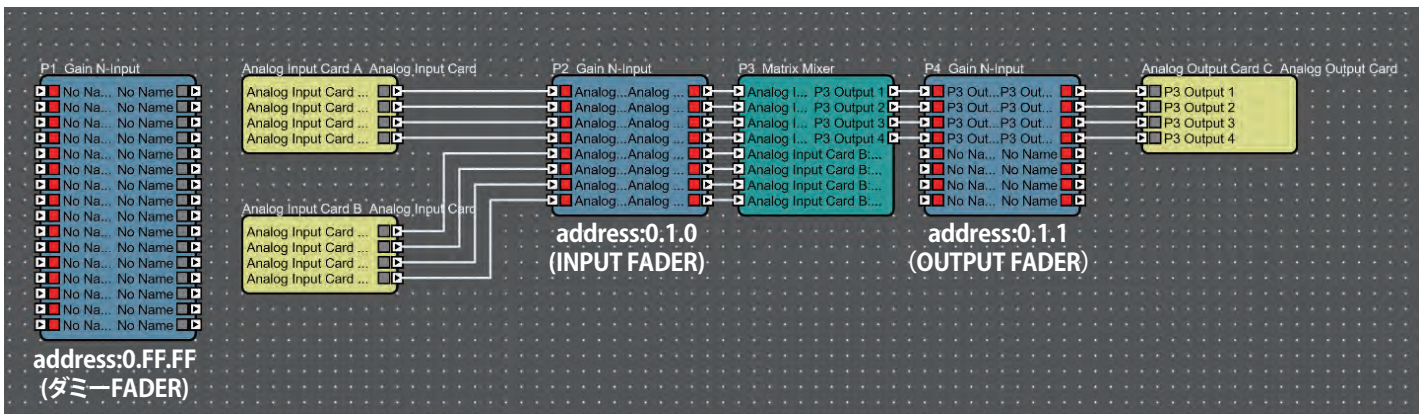
注意：GAIN N-Input以外のオブジェクトのAddressを0.FF.FFに設定すると誤動作の原因になりますのでお気を付けてください。



LF-BLUを上手く活用する方法

■Parameter Linkを使用する

LF-BLUシリーズはAddressを0.FF.FFに設定したGAIN N-Inputしかコントロール出来ませんが、Parameter Linkを使用することで複数のオブジェクトをコントロールできます。



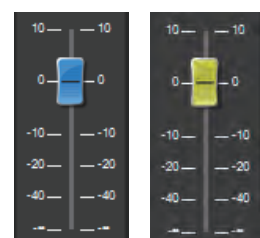
上図のようにアドレスを設定し、ダミーFADERの1chにはINPUT FADERの1chをリンク、ダミーFADERの2chにはOUTPUT FADERの1chをリンクすることにより、1台のLF-BLUで2つのオブジェクトをコントロールすることができます。

注意：ひとつのフェーダーに対して複数のフェーダーをリンクできますが、5本以上のフェーダーをリンクをすると、音声処理が重くなります。5本以上のフェーダーを操作する場合はMIXERやMatrix等でチャンネルをまとめた上で、リンクを組むことをお勧めします。

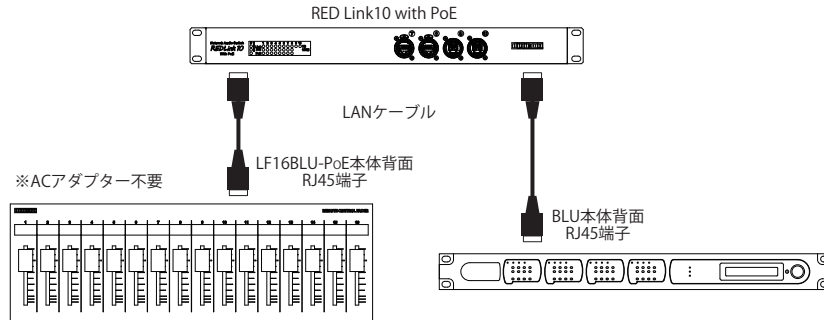
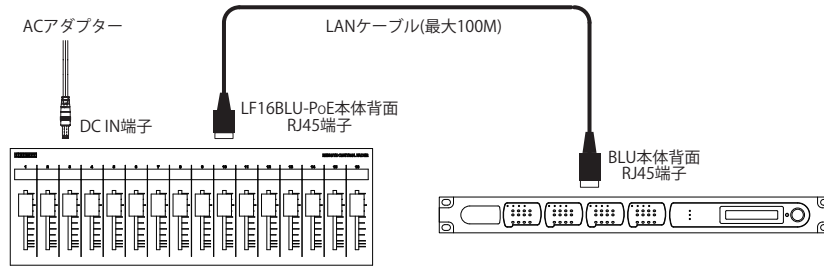
GAIN N-InputにParameter Link可能なオブジェクトはMixer/Gainsの中にある

- Automixer Gain Sharing
- Automixer Gated
- Gain
- Gain N-Input
- Gain Timed
- Mixer

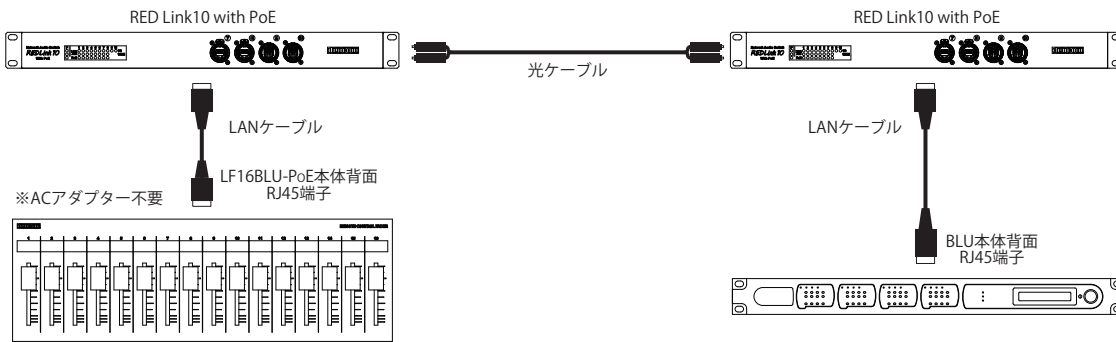
以上6項目のINPUTフェーダー/OUTPUTフェーダーのみとなります。



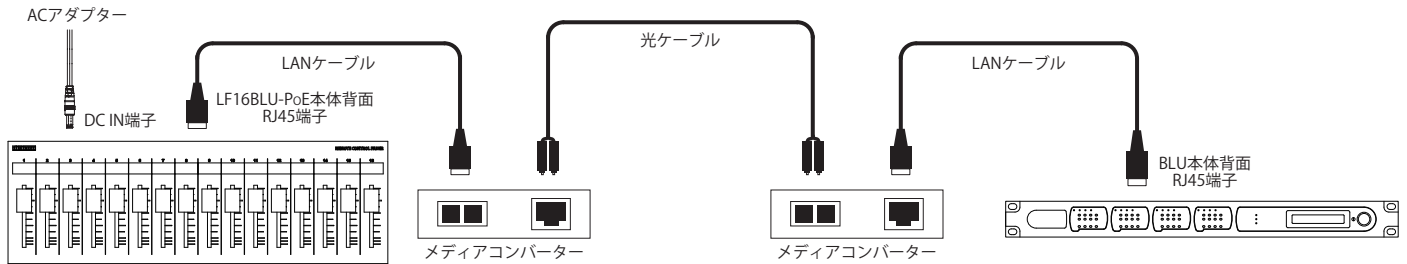
■基本接続



■光ケーブルを使用した接続例①



■光ケーブルを使用した接続例②



光ケーブルを使用する際は、光ケーブルを使用した接続例①の様にLF側、BLU側の両側にネットワークスイッチを使用するか光ケーブルを使用した接続例②の様にLF-BLU間にメディアコンバーターのみをご使用ください。上記以外の接続で光ケーブルを使用した場合、正常に動作しない可能性がありますのでお気をつけ下さい。

動作検証済機器 メディアコンバーター: FiberPlex TD-6010
光端子付ネットワークスイッチ: digicom REDLink10(光端子はオプション), FiberPlex FP1004E(光モジュール別売)

■商品に関する注意事項

持ち運びする際、移動時に強い衝撃を与えないで下さい。
水のかかる場所や直射日光が当たる場所での長時間の使用は避けて下さい。
海浜部、温泉地帯など金属のさびやすい場所では本体や取付金具の耐久性が低下する場合がありますのでご注意下さい。
ラックマウントして扱う場合、正しく設置しないと落下する恐れがあります。
機材を引き出した状態で下から負荷をかけますと事故や怪我の原因となります。
D-RACK1など引き出し付きの機器を収納する際、指を挟まないように注意して下さい。
万が一異音や異常、熱をおびた場合はすぐに使用を中止し電源を切り、メーカーまでご連絡下さい。

■保障に関して

本機にはシリアル番号で製造、出荷年月日が管理されており、保証書は添付されておりません。
万が一、故障した場合は製造日より1年間は無償で修理いたします。

※使用方法の誤りにおける破損・故障に関しましては有償となります。また、不適切な使用や改造による故障や怪我は補償いたしかねますのでご了承下さい。

■損害に対する責任

この商品の使用、または使用不能によりお客様に生じた損害については、当社は一切その責任を負わないものとします。
また如何なる場合でも当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになった商品の代価相当額をもってその上限とします。

お問い合わせ

有限会社デジコム

〒454-0012 愛知県名古屋市中川区尾頭橋3-11-15
TEL:052-324-8385 FAX:052-324-8386
E-Mail:info@e-digicom.co.jp
http://e-digicom.co.jp/